

消防士に一問一答！



答えてくれたのはこの3人です（左から順に原職員、中田職員、網淵職員）。

問1 消防学校には何人の人がいますか？

答1 訓練生35人、教官18人がいます。

問2 消防学校に入るには、どうすればいいのですか？

答2 札幌市消防吏員の採用試験に受かること入ることが出来ます。消防士になりたいと思って試験を受けてください。そして消防クラブの活動を一生懸命頑張れば、きっと消防士になれると思います。

問3 なぜ消防士になるうと思っただのですか？

答3 小学生のころ、担任の先生の家が火事になって修学旅行のような大切な思い出が詰まったアルバムなど、全部がなくなつたという話を聞きました。大切なものがなくなるのは悲しいし、少しでもそういうことを減らしたいと思って、消防士



近藤君

を目指しました。

問4 高いところで訓練をよく見かけますが、高所恐怖症の人は消防士になれないのでしょうか？

答4 日ごろの訓練で高所恐怖症は克服できると思いますし、ロープなどで安全を確保しているので大丈夫です。

問5 消防クラブで練習している止め結びや本結びは、どんなときに使いますか？

答5 止め結びはロープや滑車を固定するときに使います。本結びはロープとロープをつないだり、体をロープに結さくするときなどに使います。

問6 どの訓練も大変だと思えますが、中でも一番大変な訓練は何ですか？

答6 訓練塔を煙で充滿させた中で倒れている人を救助する訓練が



菅原さん

大変です。何も見えず、息もしづらい中で、手探りで探すのが大変です。

問7 怖いと思っただことはありますか？

答7 今は訓練なので怖いと思っただことはありません。でも、火災現場を見学したとき、消防学校を卒業後は自分も火の中に入って行くと考えたら、すごく怖いと思いました。

問8 トレーニングはつらくないですか？

答8 正直なところ、つらいと思うこともあります。市民の皆さんを助けるためなら、どんな努力も惜しみません。



峠君



加藤さん

広告欄